



▲選手とコーチの皆さん。週4日、練習をしています。

## 「速攻」を武器に全国大会出場

### 安来MBC (ミニバスケットボールクラブ)

普段の練習では、「状況を判断する力」を養うことを特に重視していると話す渡部コーチ。ドリブルやシュート練習をする時は、「相手がいいることを想定し、次に自分がどう動けば良いのかを考えるように」と教えています。

安来MBCは、昨年11月に行われた「第47回菅公カップ 島根県ミニバスケットボール大会」で優勝。全国大会への切符を手に入れました。「県大会では、ほとんどの試合で、後半から得点を重ねていき勝ち上がることができました。選手たちが試合に集中できていたからだと思えます」と渡部裕樹(ゆき)コーチは振り返ります。

この大会を最後に引退する植村くんは「安来MBCは、集中力があるところやお互いに励まし合って盛り上げていける良いチームです。後輩たちには、これからも声を掛け合うことを忘れず、さらに強いチームになって今年も県大会で優勝して欲しい」と言葉を残します。

3月末に行われた全国大会では、3試合を戦い、2勝1敗という結果でした。この大会を最後に引退する植村くんは「安来MBCは、集中力があるところやお互いに励まし合って盛り上げていける良いチームです。後輩たちには、これからも声を掛け合うことを忘れず、さらに強いチームになって今年も県大会で優勝して欲しい」と言葉を残します。

素早いドリブルから流れるように放たれたボールが次々とゴールに吸い込まれます。十神小学校の講堂で行われている安来MBC(ミニバスケットボールクラブ)の練習風景です。

早く攻撃にうつること)が武器です。しっかり守ってその後、スピードを意識して得点を重ねていくプレースタイルを得意としています」とチームの紹介をするのは、キャプテンの植村旬(しゅん)くん。練習や試合では、いつも声を出してみんなをまとめる役割をしています。



▲コーチに指導を受けながら試合での動きを確認します(ボールを持っているのが植村くん)。

## 編集後記

▼安来MBCの植村旬くん。同じ漢字で同じ名前の人に初めて会いました。「漢字一緒じゃん!」とテンション高めに名札を見せましたが、本人は「ああ、はあ」といった返事。2人の温度差を感じました(笑)。そんなこんなで今年度もカメラを持つことになりました。取材の際はよろしくお願いします(旬)

▼小中学生時代に流行ったラジコンカー。46歳になってもなお、その姿を見るたびに心がときめきます。当時はとても高価なものだったため、親に買ってもらえず友達に借りて楽しんでいました。大人になつた今、遊びたい気持ちとコレクションしたい気持ちがあは、財布の中身との相談です(つ)

安来市の人口と世帯数 R3.3.31現在

人口合計 / 37,512人  
(男:18,036人 女:19,476人)  
世帯数 / 14,351世帯



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。  
●自治会宛の発送等につきましては、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。